

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価書

都道府県名	大分県	事業実施主体	大分県、国東市、姫島村	地域再生計画名	国東半島・姫島エリアの「食」の魅力を守るみなとづくり計画
計画期間	令和3年度～令和7年度	評価責任者	大分県土木建築部港湾課長 清永隆志、大分県農林水産部漁港漁村整備課長 山口甲一郎		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	指標総数		達成数			
	道の駅「くにみ」「くにさき」利用者数の維持		363,815人	H27	363,815人	R5	395,637人	363,815人	R7	○	2	1	中間目標値を大きく上回る実績であり、なお増加傾向に推移している。これは港湾事業の進捗に伴い、フェリー利用者数の増加により、道の駅利用者が増加しているものと推測される。
		漁業者1人当りの年間漁獲量の維持	2.8t/人	H30	2.8t/人	R5	2.4t/人	2.8t/人	R7	×	2	1	年毎の漁獲量の変動が大きいが、令和4年度は目標値を上回っている。引き続き事業を進めることで、漁業活動の安全・安定性を向上させ、安定した漁獲量の確保を目指す。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (R5)	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	港湾整備事業 【国東港国東地区】 護岸 (+0m～+0.5m) 物揚場 (-2.0m) 【国東港伊美地区】 防波堤 物揚場 (-3.5m) 可動橋 【国東港富来地区】 護岸 (防風柵) 【国東港武蔵地区】 物揚場 (-3.0m～-0.5m) 【姫島港松原地区】 可動橋 【姫島港追崎地区】 臨港道路		L=54m L=216m L=30m L=60m N=1基 L=287m L=245m N=1基 L=232m	L=216m L=60m N=1基 L=128m L=192m N=1基 L=232m	L=54m L=216m L=30m L=60m N=1基 L=287m L=245m N=1基 L=232m	当初計画に対し、事業費ベースの進捗率は、42%と若干の遅れが生じているが、現地施設整備は概ね順調に進んでいる。指標1の目標も達成し、事業効果は発現してきているため、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	漁港整備事業 【香々地漁港】 護岸 (防風柵) 【竹田津漁港】 -4.0m岸壁 (防舷材補修) 岸壁 (断面補修) 可動橋 (補修) 臨港道路 (舗装補修) 【西浦漁港】 護岸 (補修) 浮桟橋 (補修) 【種田漁港】 漁港施設用地 (舗装補修) 【内迫漁港】 泊地・航路 (浚渫) 【安岐漁港】 浮桟橋 (新設)		L=23m N=7基 L=0.5m N=1基 A=840m2 L=17m N=1基 A=2900m2 A=9300m2 N=1基	N=23m N=7基 L=0.5m N=1基 A=840m2 L=17m N=1基 A=2900m2 A=9300m2 N=1基	L=23m N=7基 L=0.5m N=1基 A=840m2 L=17m N=1基 A=2900m2 A=9300m2 N=1基	概ね当初の計画通り、事業を実施した。漁港整備事業として進捗率(事業費ベース)約55%となっている。竹田津漁港の臨港道路(舗装補修)、西浦漁港の浮桟橋(補修)は予定どおり、令和7年度に完了予定である。安岐漁港の浮桟橋(新設)が物価の高騰により、進捗の遅れが生じたため、今後、事業期間と事業費の見直しを行う予定である。安岐漁港の浮桟橋は地元からも強く要望を受けており、漁業活動の安全化、効率化を図るとともに、水産業が地域経済の中核となっている本地区に必要な施設であるため、計画変更のうえ、引き続き事業を実施したい。							
その他の事業	-		-			-							
計画外で独自に実施した事業	ツール・ド・国東		国東半島の活性化の一ススポーツイベントを開催			スポーツレクレーションの機会を提供することで、国東半島の文化、地域住民とのふれあいを通じ、国東半島地域の活性化が図られる。							
	くにさき T-1 グランプリ		国東市の特産品を使った料理のイベントを開催			国東市の特産品を使った料理を提供することで、市内外の一般消費者への普及促進が図られる。							
	姫島車えび祭		姫島村の特産品の直販会などのイベントを開催			姫島村の特産品の直販会などのイベントを開催することで、村外からの観光客を呼び込み、村外の一般消費者への普及促進が図られる。							
	姫島おさかな祭		姫島産の海産物の直販会などのイベントを開催			姫島産の海産物の直販会などのイベントを開催することで、村外からの観光客を呼び込み、村外の一般消費者への普及促進が図られる。							
	仏の里くにさき・とみくじマラソン大会		スポーツイベントを開催し、地元特産品を提供			国東市にてスポーツイベントを開催し、出場者に地元料理を振る舞うことで、地元特産品の普及促進が図られる。							
	香々地海のグルメ直売会		地元の海産物の直販会などのイベントを開催			地元海産物の直売会などのイベントを開催することで、市外からの観光客を呼び込み、市外消費者への普及促進が図られる。							
	水産環境整備事業		幼稚魚保護や育成場造成のための増殖場整備や人工漁礁の整備を行う			増殖場整備や人工漁礁の整備を行うことで、水産資源の持続的利用と水産物の安定的な供給が図られる。							
	漁業担い手総合対策事業		新規漁業者支援のため、漁業就業給付金を支給する			漁船漁業に就業開始時は、収入の確保が難しく、初期投資が大きいため、漁業就業給付金を支給し、新規就業者者に支援を行うことで、人材の育成、担い手の確保が見込まれる。							
③評価方法	学識経験者等及び漁協組合に意見を求め、中間目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。												
④中間評価の公表方法	大分県のホームページに掲載予定												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画は、港湾施設、漁港施設を一体的に整備することにより、漁業就業者の就労環境の改善や出漁機会の安定・増加を図り、もって、地元特産の水産物供給の安定化や地元での消費促進等の取り組みを進めることで、基幹産業である水産業における生産性の維持や地域内における集客力の維持を通じて、国東・姫島地域の活性化を図ることを目的としている。港湾事業の進捗により、指標1の目標を達成していることから、一定の事業効果が発現しているものと考えられる。指標2の目標について、中間年度では達成できなかったが、過年度では目標を達成していることから事業効果は見込まれるため、安定した漁獲量の確保のため、今後も目標達成に向け、引き続き事業を推進していきたい。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し (有・無)					・港湾施設において、整備量の施設追加を行う。 ・漁港施設において、計画期間内での事業期間を1年延長、事業費の変更を行う。							
	令和7年度予算要望額への反映 (有・無)					・港湾施設において、物価高騰による事業費の増額に伴い、要望事業費の見直し。							
⑦今後の方針等に対する対応	○港湾施設、漁港施設に係る地域再生計画の変更を予定 ●港湾施設 ・整備量 現計画(国東港・地方港湾) 外郭施設、係留施設→見直し後 外郭施設、係留施設、水域施設 ・事業費 現計画824,000千円→見直し後914,000千円 [90,000千円(うち交付金30,000千円)増] ●漁港施設 ・事業期間 令和3年度～令和6年度→令和7年度 ・事業費 現計画358,000千円→見直し後410,000千円 [52,000千円(うち交付金26,000千円)増]												